

明日にむかって

発行 社会福祉法人陽光会 編集「明日にむかって」編集委員会 発行日 2014年7月15日
住所 〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町23-1 ☎03-3956-1068(陽光保育園)

74号

5～6月は個人面談の季節です。入会者急増でやむなく1年生の保護者だけに絞りましたがそれでも34人、連日密度の濃い会話が続きます。20分の予定がつつい40分、1時間に……。終始笑い通しだったり、一緒に涙しながら話し込んだり……。指導員も親も想いは同じです。子どもたちが学校という新しい世界で、一所懸命でいることがわかるから。個人面談を経ると、保護者の方々の関係ががぜん近くなります。預け預かる関係というより、一緒に歩んでゆく関係を実感できるようになるからでしょう。送り迎え時に限らず、立ち寄って話をしてくれる保護者の存在が有り難い。「学童があるから」「先生たちがいるから」という声掛けに励まされ、「保護者と繋がっているから」「保護者同士の繋がりがあがるから」新制度になっても頑張ろう！……と思う毎日です。(Y・S)

『仲間と共に育ちあう』

◆学童保育で私たちが大切にしてきたこと

「仲間と共に育ちあう」は、1年の最初の保護者会で配る資料に毎回タイトルとして載せている言葉です。ここ数年間、さまざまな変化が押し寄せている学童クラブ。それでも、私たちが変わらず大切にしてきたのがこの「仲間と共に育ちあう」ということです。だからこそ保護者の方にも一番に伝えたいと思ひ、資料に載せ続けています。3年前に定員がなくなつて学童クラブ在籍児童数が大幅に膨れ上がり、集団作りにとても悩んだときも、仲間の中で自分らしさを発揮して育ちあうことが大切だ、という思いは揺らぎませんでした。

安心できる大人の存在

子どもたちが「仲間」の存在に気づけるようになるためには、まずは「一人ひとり」が大切にされること。がとて大事です。学童クラブにはさまざまな子がいて、当たり前ですが一人ひとり違います。喧嘩をしたりと、つい手や足が出てしまつたり、根は優しいのに素直になれない子、さまざまな個性の子どもたちが一緒に生活する場では、ぶつかりあうことも多々あります。そ



①みんなでやると掃除も楽しい!
②大人数でワイワイ。学童クラブだからその遊びを楽しむ
③要支援のお友だちも大切な仲間
④みんなで食べるおやつ時間も大切な異年齢交流の場

子どもも安心して心を開いてくれる、そうわかつた経験でした。気持ちのぶつかりあいは子ども同士だけではなく、指導員と子どもの間でも起こるのです。しかし、「どんなことも受け止めるよ」という大人がいることで子どもたちは安心して、周りの「仲間」の存在に気づき、友だちの輪が広がっていくのです。



時には指導員の工夫でこんな遊びも。中庭で

「ホッとできる居場所」をめぐって

学童クラブの大きな特徴の一つに「ただいま」と帰ってくる習慣があります。この言葉からわかるように、子どもたちにとって学童クラブは「第二の家」「居場所」なのです。帰ってきたら自分の好きな遊びがとことんできる、遊びを通して大好きな仲間ができる、仲間とは喧嘩もするけど、仲直りもできて、異年齢の関わりの中でお互いに成長しあえる。そして、自分を受け止めてくれ、甘えられる大人がいる。そういうことが学童クラブを「居場所」としていくのです。居場所と感じているからこそイライラをぶつけるなどマイナスマ面もたくさん出しますが、それも自分を出してきた証拠と受け止められる大らかさが学童クラブにはあると思います。

保護者も「仲間」、支えられ、育ちあう

私たちは子どもを真ん中に保護者の方と一緒に子どもを見守っていきたくて、保護者会などでは、子どもの姿を伝えることや、私たちの保育理念などを伝えていくことを大切に、保護者と指導員の繋がりを、日々実践していく中で、不安になることや、上手くいかないこともたくさんあります。そんなとき支えになるのは保護者の方の言葉です。「先生たちがしっかり子どもたちを見てくれているから安心して働けるんです」「我が子のことで悩んだときも話を聞いてくれてありがとう」などの言葉に何度助けられたことでしょうか。保護者の中にも子育てで悩んだとき、保護者同士の繋がりがあつたからこそ乗りこられたという経験がたくさんあると思います。

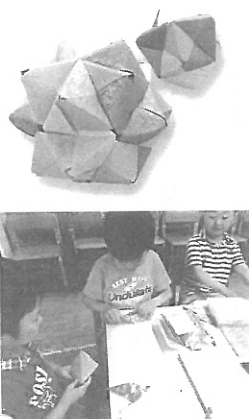
「新しいキッズ」への不安

子どもたちだけではなく、大人たちも学童クラブの繋がりの中で、支えあい、育ちあっているのです。

来年度から板十小あいキッズ学童クラブも「新しいキッズ」になります。新しいキッズとなったとき、今まで私たちが大切にしてきたことを果たして守っていくのでしょうか。子どもたちが自分らしく、のびのびと安心して過ごせる放課後を作っていくためには、新しいキッズ条例の職員数や環境条件で足りないことは明白です。子どもたちにとって「という視点を常に持ち、新しいキッズになつてもどうしたら「私たちが大切にできたこと」を守れるのか、よりよい放課後をめざして、周りの人たちと一緒に考えていきたいと思います。」(板十小あいキッズ学童クラブ指導員 納本沙保)

板十小あいキッズ 手先を使って楽しむ

板十小あいキッズ学童クラブでは、「折り紙のくす玉作り」が大ブームです。一つひとつのパーツをていねいに折らないと、きれいなくす玉はできませんが、12面体から30面体まで子どもたちはくす玉の作り方を覚え、組み立てるところまできちんとできるようになります。すでにくす玉職人の域となった3年生が1年生に教える姿も見られます。



親子でいっしょにあそびましょう

●陽光保育園●

2014年度も、保育園の子どもたちが日ごろ遊んでいる「砂遊び」と「リズム遊び」を主に計画しました。これまでに参加されたみなさまからも「家庭ではできないことができてよかった」「とても楽しかった」など、たくさん感想をいただいています。公園ではできない遊びが体験できますよ。親子で気軽に遊びにきてください。無料です。
場所 陽光保育園(板橋区大谷口上町23-1) ☎3956-1068
時間 午前9時30分～11時(赤ちゃんは10時30分まで)
対象 0歳児～就学前のお子さんと保護者
*参加ご希望の方は実施予定日の3日前までにお電話ください。
*動きやすい服装で、タオルと着替えをご持参ください。
*お天気により変更する場合があります。
*0歳のお子さんは、室内にて、赤ちゃん体操・あやし遊びなどでゆったり過ごします。

2014年度◆今後の予定

7月16日(水)	8月5日(火)	9月9日(火)
10月30日(木)	11月26日(水)	12月9日(火)
1月20日(火)	2月17日(火)	3月3日(火)

* 9月:看護師が「健康」について相談を受けます。
* 10月:栄養士が「食」について相談を受けます。

社会福祉法人陽光会◎近況

陽光保育園 ●親子バス遠足●

今年の4、5歳児の親子バス遠足は、埼玉のみさと公園に行きました。着いたとたんに雨が降りだし、屋根のある所でまねっこゲームや歌やダンスなど親子で遊びました。そのうち雨もやみ、楽しみにしていたアスレチックへ。お父さんの参加が多くてダイナミックな遊びができ、メインのローラーすべり台は何度もすべり、子どもたちは大喜びでした。

北町保育園 ●初めての餅つき●

北町保育園では、5月8日「子どもの日を祝う会」で、初めて餅つきをしました。園庭で育てたヨモギを年長児が前日に摘んでおき、ホールに全クラスが集まり、地域の青少年育成地区委員会から借りた「臼」を使って、草餅をつきました。ふかしたのもち米をおにぎりにして食べる経験もし、お餅になる過程を子どもたちに見ることができました。それまでお餅を食べられなかった子が「おいしい!」、食べることで、保護者にも喜んでくれました。



「子ども・子育て支援新制度」 公的責任で格差のない保育を！

知っていますか、 来年度から実施の「新制度」

昨年、消費税と抱き合わせて成立した「子ども・子育て支援新制度」(以下、新制度)は、まだ自治体での具体化が進まない中、来年度からの実施が予定されています。現在の幼稚園や保育園は、「新制度」が示す多様な施設の中からひとつを選び、運営方針を決めなければなりません。小さい子を持つすべての家庭に開く問題です。職場復帰のことも、保育料のことも、各園の保育内容も水準が守れるか不安が募ります。

待機児童がなくなるの？

新制度は、施設・事業によって市区町村

今、保育園では

例えば4・5歳児のお泊り保育では、どの子も同じ体験をしながら、期待と不安の

陽光保育園の 一時保育

●ひまわり組●

陽光保育園の一時保育を利用していた子どもたちのなかには、その後、幼稚園に入園した子どももいます。その子の弟や妹がまた一時保育を利用しているケースも多く、お母さんと一緒に姉妹のお迎えにきて、幼稚園の様子を話してくれたりします。一時保育では5年、6年と続けて保育をすることはありますが、大きくなった姿を見せにきてくれるのはうれしいものです。

気持ちのよいお天気の日には、ひまわり組も砂場で遊びます。足に砂がつくのが嫌いな子ども、水の魅力に一步踏み出し、蛇口から出る水に手をのび、夢中で遊びます。あるとき、2歳児の男の子が機械で歌っていました。担当者は何の歌かわからなかったのですが、隣のクラスの3歳児の女の子と一緒に歌いだしてくると、男の子も「わかってもらえた」と、うれしそうに歌いつづけていました。

最近、お買い物などが流行っています。「へたさいなのやりとりを聞きつけ、隣の2・3歳児の子どもたちも「何がいいですか?」と、お店屋さんになってくれます。子どもたちが遊びでつなぐ力はすごいなと改めて感じることも多い毎日です。今年も地域の中で、子育てのお手伝いができるよう頑張っていきたいと思っています。

(陽光保育園一時保育担当 若林雪子)



トンネルの中からこんにちは！ はじめて会うお友だちも久しぶりに会うお友だちも、遊びを通して仲良くなっていきます

●利用日・利用時間など
○利用日 月曜日～日曜日
○利用時間 10時～17時
○緊急時以外は、なるべく利用される10日前までに申し込んでください。
○事前にお申し込みを、利用日・利用時間を予約していただきます(親子でおいでください)。
○利用料その他、詳しくは陽光保育園までお問い合わせください。

建築 資金

●寄付のご協力ありがとうございます。
(2014年3月1日～6月30日/順不同・敬称略)
大内知温・由紀子、北町保育園財政活動有志
●2013年度のご報告と御礼～社会福祉法人陽光会・建築財政活動連絡会より
【2013年度】寄付金(個人・団体)122,214円
陽光会後援会、職員財政活動など64,130円 計186,344円
*上記のように、2013年度の寄付金は合計186,344円となりました。ご協力ありがとうございました。
*社会福祉法人陽光会・建築財政活動連絡会では、陽光保育園の新園舎改築に伴う借入金返済のため、長らくみなさまにご寄付のお願いをしてきました。2006年度以来、パーや財政活動も含め、年間60万円×10年=600万円の計画を立てていたところ、このたび、累計6,061,996円となり、目標額に達しました。これもひとえに皆様のおかげと心から感謝いたします。
ここで一旦、建築資金の募金は終了いたしますが、今後ともどうかご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

新制度

●新制度について、まだ何もわかりません。仕事も子育ても一生懸命な姿を子どもたちに見せていきたいという思いは働くお母さんみんな同じはず。安心して預けられる保育園がなければ、その思いはかたがた。ただ預ける場所ではなく、子どものこと、子育てのことを一緒に考えてくれ、安心して預けられる保育園であってほしいと思います。
(0歳児母)

●新制度で一体何がどのように変わるの？
子育てを応援する中身になっているのでしょうか？ 疑問と不安がいっぱいです。夫は、今年度父母の会の役員になって初めて新制度のことを知って驚いたと言います。そもそもこの制度自体を知らないと、知らされていない保護者がほとんどということ自体がおかしいと思います。私の周りには「もう決まっちゃんでしょ」の声も。でもこの夏、各市区町村で決まることも多いと聞きます。子どもの成長を一番に考え、保育の質は守ってほしいと思います。
(0歳、5歳の母)

声の訴え

●新制度について、まだ何もわかりません。仕事も子育ても一生懸命な姿を子どもたちに見せていきたいという思いは働くお母さんみんな同じはず。安心して預けられる保育園がなければ、その思いはかたがた。ただ預ける場所ではなく、子どものこと、子育てのことを一緒に考えてくれ、安心して預けられる保育園であってほしいと思います。
(0歳児母)

子ども時代も青春時代も ずっと戦争だった

北村 みち子

昭和5年生まれ私には、小学1年生になるとまもなく第一次世界大戦が始まった。そして5年生になった12月8日、第二次世界大戦が勃発。12歳で憧れの豊橋高等女学校に入学したが、2学期、国は全学生勤労動員令を発した。

“お国のために”女学生たちは当然のこととして、電車で15分ほどの豊川海軍工廠に派遣された。そこでは、全生徒一丸となつての弾丸作りが待っていた。高い土手に囲まれた鉄筋の火薬庫の隣に建てられたバラックが私たちの作業小屋だった。昼夜3交代のため、工員寮に入れられた私たちは、制服にモンペ姿に女学生の誇りをこめ、キリリと鉢巻をしめて整理し、小屋と寮とを往復した。

昭和20年6月、毎晩の空襲警報と昼間の労働に疲れきった寝不足の耳に、いつもと違うけたたましいサイレンの音が響き、全員が飛び起きた。私はなぜか厚い夜具布団に手を通し、それを引きずりながら防空壕に飛び込んだ。B27は地面の底からのような唸り声を伴って次々と飛来し、子ども時代以来しばらく見ていなかった線香花火の超大型が夜空一面に広がった。思わず「きれい！」と思った瞬間、豊橋の町一面に火の手が上がった。まるで油を撒いて火をつけたように。猛火に包まれていく我が町の上に敵機は容赦なく果てしなく焼夷弾を落とし続けた。

空が白み始めたころ敵機は去り、私たちは泣き叫び、呻き声をあげながら担任の先生を先頭に電車の線路の上を我が家に向けて走った。父は、母は、妹は、弟は、もう焼け焦げているにちがいない。どうやって捜そうか、見つけられるだろうか、苦しかったろう。思いは千々に乱れ、一歩でも早く家に帰り着きたい思いだけで足を動かしていた。

駅前の我が家は灰塵に帰し、築山の横の防空壕に人影はなく、池の鯉は腹を出して焦がれていた。「もしかして逃げられたのだろうか、いつか話していた川のあるほうに逃げたのだろうか。そうだ、下地の川だ。道らしい道には荷物とともに焦げた女、「みず、みず」とかぼそい声で泣く子ども。それらに気をとられまいと狂ったように下地の川に向かった私は、焼け焦げた髪にすすけた顔で弟を抱きしめている母を見つけた。思わず「お母さん！」と叫んでいた。その母が、今年108歳になった。
(板橋区在住)

ごあんない

●陽光保育園
運動会
とき 10月12日(日) 9時～14時
場所 板橋区立板橋第十小学校校庭

●冬のバザー
とき 12月7日(日) 10時～14時
場所 陽光保育園

●北町保育園
運動会
とき 10月18日(土) 9時15分～13時30分
場所 北町保育園園庭

●陽光会後援会
夏の交流会
とき 7月27日(日)
場所 三浦海岸

●納涼会
とき 8月29日(金) 19時～
場所 陽光保育園

※例年のように一品持ちよりです

お父さんの 出番です!!

育児休業のすゝめ

昨年の12月に次男陽翔(陽と)が生まれて、今年の4月から私は育児休業に入っています。育児に入ってから増えるもの……、もちろんお金ではありません(減る一方です)……。そう時間です。そこで、我が家では計画していたことがあります。それは、長男見真の登園を、歩いていくことです。

ちょっと(？)かなり(？)ポチャリの見真、周りからは「今のうちは、欲するだけ食べていい」とか、「ムチムチしていいかわいい」とかよく言われますが、親としては気が気ではありません。自転車で行けば、5分ちよつとのところを、見真のペースで歩く、30～40分かかります。でも、そんなことは気にしません。運動量を増やすため、何しろ時間はあるのですから。

時間をかけて歩いていくだけあって、途中でいろいろなイベントが起こります。発見、出会い、時に涙……。歩くといいますが、歩く前の靴を履くところから、イベントは始まります。

「お父さん、履かしてー」「自分でやってー」「いやだ、やってー」……。少し手伝ったりしますが、基本的には自分でやるまで待ちます。外に出ると、「あ、ペんぺん草だ！」や「石ころおー」と収集が始まったり、表札を見て「ここなんて書いてあるの?」「伊藤だよ。伊藤さんが住んでいるんだね。」と話すと、次の日から「こー、伊藤さんのお家だね」と大きな声で毎日教えてくれたりします。半分くらい来たかと思うと、突然、「お母さんがいい！」と家に向かって、猛ダッシュしてみたり……。板十小のみどりのおじさんとあいさつを交わして、保育園に着くとまた「靴やってー」のやり取り。

肥満予防から始まった徒歩登園ですが、プラスαの効果はたくさんあるように感じます。

何より待つてあげることで、これが大切なのだと思います。子どもの反応をしっかりと待つてあげられる時間を生み出してくれる育休、短期間でも取ってみる価値は大いにあると思います。
(陽光保育園2歳児クラス・見真の父 高木貴博)